

学部 / 人間科学領域 / 情報

科目コード : 110404

# 保健統計学 Health Statistics

担当教員 大木秀一

実務経験

開講年次	1年次後期	単位数	2	授業形態	講義
------	-------	-----	---	------	----

必修・選択	必修	時間数	30
-------	----	-----	----

Keywords  
統計学  
保健学  
公衆衛生学  
疫学  
量的研究

学習目的・目標  
健康や疾病に関する統計を取る意味を理解する。そのために、統計学の考え方と基本的な分析技術を習得する。以上を系統的に学習することにより、2年次に学習する公衆衛生学、3年次に学習する疫学、研究方法論の理解を深いものとする。疫学・公衆衛生学との関連を随所で指摘することにより、学習の必要性を意識づけする。

授業計画・内容

回	内容
1	保健統計学の全体像（人を対象とした統計学と集団における健康事象）
2	統計学（統計学の基礎：統計学の歴史、基本用語と尺度水準、記述統計と推測統計の区別）
3	統計学（1変数・2変数の記述統計の全体像）
4	統計学（1変数の記述統計：質的データの図表化、量的データの図表化、ヒストグラムの作成）
5	統計学（1変数の記述統計：量的データの数値要約、代表値、散布度、歪度、尖度、その他の統計指標）
6	統計学（2変数の記述統計：質的2変数の関連、クロス集計、関連係数、 $\chi^2$ 値）
7	統計学（2変数の記述統計：量的2変数の相関、相関係数、回帰直線、寄与率、順位相関係数）
8	統計学（推測統計の基本：確率論、推測の仕組み、正規分布、標本分布）
9	統計学（推測統計の手法：t検定と $\chi^2$ 検定の基本的な考え方）
10	保健統計（保健統計とは、保健統計の歴史、人口統計学の基本）
11	保健統計（人口静態統計：国勢調査、人口ピラミッド、年齢3区分と健康指標）
12	保健統計（人口動態統計：出生、死亡、死産、婚姻、離婚、再生産率）
13	保健統計（生命表、平均余命、平均寿命、健康寿命）
14	保健統計（統計法と保健統計調査、基幹統計、国民生活基礎調査、患者調査）
15	保健統計（学校保健統計、感染症発生動向調査、食中毒統計、国民健康・栄養調査ほか）

教科書 大木秀一著：基本からわかる看護統計学入門（第2版），医歯薬出版

参考図書等 大木秀一著：量的な看護研究のきほん，医歯薬出版 福富、橋本著：保健統計・疫学，南山堂  
国民衛生の動向（最新版），厚生労働統計協会

評価指標 試験（100%）、出席状況（試験の成績によっては考慮する）出席は毎回の小テストの提出による。

関連科目 情報リテラシー 情報処理学 公衆衛生学 疫学 研究方法論

教員から学生へのメッセージ  
1. 公衆衛生学、疫学、研究方法論及び卒業研究の基礎となる科目です。2. 実際のパソコンでの統計計算は2年次後期の「情報処理学」で行います。